

## 11月22日(木) 全校講演会

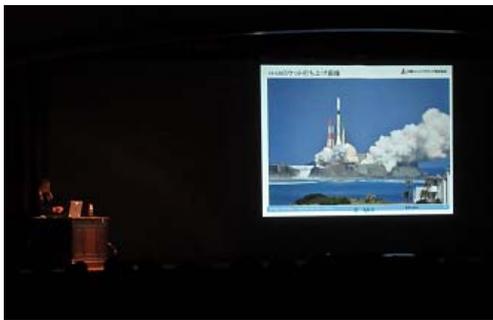
春の開校記念式典と同様、秋の全校講演会は、毎年OBに来ていただいています。今年は29回生の並河達夫様にご講演いただきました。

並河様は、本校卒業後、京都大学工学部航空工学科（当時）を経て三菱重工業株式会社に入社、名古屋航空機製作所宇宙機器部組立課試験係に配属され、その後一貫してロケット打ち上げに関わってこられました。現在は、三菱重工グループの中部地区エンジニアリングを担う中菱エンジニアリング株式会社の執行役員航空宇宙事業部副事業部長をされておられます。

小学校の時にアメリカのアポロ11号の月面着陸の場面をテレビで観た経験が、その後の進路選択に大きく影響したとのことでした。

日本のロケット開発の歴史から宇宙産業の現状など、大変分かりやすくご講演いただきました。

講演の冒頭に、自らを振り返りながら、進路（分野や大学・学部）を考える際の並河先生ご自身の「思い込み」、大学受験直前の「粘り」（特に物理に対する）、大学を卒業して就職する際の「運」の三つがあって現在の自分がある、という趣旨のお話をされたのも印象的でした。



講演の様子



中村自治会長がお礼と花束贈呈

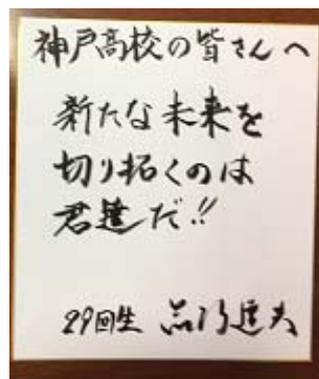
講演の時間は1h程度しかとれませんので、「もっと話が聞きたい」という生徒のために講演後、希望生徒との座談会を設定しました。座談会の会場の会議室には40人を超える生徒が集まり、並河様からさらにお話を聞くことができました。

講演で紹介しきれなかった日本の宇宙産業のこと、ロケットの専門的な内容、発射場はなぜ種子島なのか、種子島までの輸送のご苦労、等々以外にも、ご自身の高校時代の部活動、受験勉強のことなど生徒からの質問にも丁寧に答えていただきました。

大変興味深く、また楽しい座談会となりました。



座談会の様子



色紙をいただきました

- お忙しい中後輩のために、講演に始まり座談会まで長時間にわたりお話しいただきました並河様に深く感謝申し上げます。ありがとうございました。
- 今回の講演会の実施に当たり、講師をご紹介いただくなど同窓会には大変お世話になりました。ありがとうございました。
- 企画・調整・準備の中心となった総務部はじめ先生方もおつかれ様でした。ありがとうございました。自治会や放送委員会の皆さんもおつかれ様まででした。